

## 8-4-16 土質・地質専門委員会

### 1. 専門委員会の委員及び活動体制

令和6年度に新規委員1名を加え、17名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、3班のワーキンググループ(地盤評価WG、調査結果品質確保WG、照査特別WG対応)で企画・実施準備を担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、国土基盤技術委員会から指示・要請を受けた課題に対しては、その都度全委員にて対応した。また、地盤品質判定士協議会など外部組織からの要請課題についても対応した。

### 2. 主な活動の記録

#### (1) 毎月の定例専門委員会等の開催

(令和7年2～3月は除く)

Web会議方式と対面方式を併用して専門委員会を開催した(6、9、12月の3回は対面も併用して開催)。

#### (2) 活動の概要

令和6年度活動の概要は以下に示すとおりである。

##### a. 活動概要(1) 年間計画活動

・地盤評価WGの主な活動:

「第30回設計技術者のための地盤技術講習会の開催」及びテキスト修正(オンライン開催:令和6年11月14日(木)参加者958人)

今年度も前年度と同様、オンライン配信による開催とし、チャットによる質問受付等を実施した。

内容は、午前を有識者による講演会、午後は地盤調査・設計に関わる講習会とした。アンケートでは、講演内容等に好評の意見を多数頂くとともに、講演内容に関する要望もあり、来年度開催へ反映し内容の充実を図る。

・調査結果品質確保WGの主な活動:

「土質・地質調査に係るチェックリストの更新検討」

新たなエラー事例をもとに地質・土質調査計画

等に関わるチェックリストを更新し、品質セミナーの資料として反映させた。

・照査特別WG担当の主な活動:

エラー事例収集とセミナーテキスト修正、セミナー講演会対応を行った。

##### b. 活動概要(2) 対外的な活動

・地盤品質判定士協議会への対応:

地盤品質判定士の試験分科会・検定委員会・監理委員会に委員3名を派遣した。

・全国地質調査業協会連合会との意見交換会:

地盤技術に関わる技術課題を共有するとともに知見や技術情報の交換を目的として委員10名を派遣した。

### 3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。

「地盤技術講習会」、「RCCM自主学習教材」テキストの更新、設計技術者向け調査計画・結果チェックリストの更新、必要に応じて「調査計画の立て方(道路・河川事業編)」の更新等を中心とした活動を行う。開催方式は、Web会議方式を主体としつつ、対面での開催も取り入れる。

(土質・地質専門委員会委員長 川井 正彦)